

# 第1学年 国語科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	単位数
国語1 (光村図書) 中学書写1, 2, 3 (光村図書)	新基礎の学習1 (新学社)	1, 2組 丸山 6, 8組 相原 3, 4, 5, 7組 中市	週4時間 年140時間

## 1 教科目標

- (1) 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

## 2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
【知識・技能】 言語事項	漢字や言葉を正しく使うとともに、文字の配列に配慮し、調和よく書くことができる。 定期考査、漢字や文法の小テスト、書写作品など
【思考・判断・表現】 A 話す・聞く力	目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができる。 授業中の発表の様子、音読や朗読、聞き取りテストなど
B 書 く 力	様々な材料をもとに、自分の立場を明らかにして論理的に書くことができる。 定期考査、授業中のノート、意見文、夏休みの課題など
C 読 む 力	目的や意図に応じて文章を読み、効果的に活用することができる。 定期考査、授業中のノート、発表内容など
【主体的に学習に取り組む態度】	国語に関心を持ち、授業に真剣に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、課題への取り組み方、提出物など

## 3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	○ オリエンテーション	1	・ 授業での準備物、約束を確認する。	仙台市標準学力検査 4月13日(木)
	・ 朝のリレー	1	・ 詩の特徴を生かして音読する。	
5	○言葉に出会うために			
	・ 野原はうたう	2	・ 音読の工夫を考える。	
	・ 声を届ける/書き留める/言葉を調べる	3	・ 発表の仕方、ノートの書き方、言葉の調べ方を知る。	
5	1 学びをひらく			
	・ 書写1 楷書を書こう	2	・ 硬筆で字形を整えて書く。	
6	・ シンシユン	4	・ 人物の関係の変化を捉える。	
	・ 情報を的確に聞き取る	1	・ 聞き取りメモの取り方を理解する。	
	・ 情報を整理して書こう	4	・ 観点を決め、分かりやすい文章を書く。	
	・ 漢字1	2	・ 漢字の組み立てと部首を理解する。	
6	2 新しい視点へ			
	・ ダイコンは大きな根?	2	・ 段落の役割の違いに気付く。	
	・ ちょっと立ち止まって	3	・ 段落の関係に注意し、構成を捉える。	
7	・ 思考のレッスン1	1	・ 意見と根拠の結びつきを考える。	1学期中間考査 6月27日(火)
	・ 書写2 楷書を書こう	2	・ 文字の大きさと配列を確かめる。	
	・ 漢字2	2	・ 新出漢字を学び、問題に取り組む。	
7	・ 文法1	3	・ 言葉の単位と働きを理解する。	
	・ 話の構成を工夫しよう	4	・ 構成を考えてスピーチメモを作る。	
	○ 意見文を書こう	6	・ 立場や根拠を明確にして書く。	
8	3 言葉をつなぐ			
	・ 詩の世界	3	・ 詩の表現を参考にして詩を書く。	
	・ 比喩で広がる言葉の世界	3	・ 比喩表現について理解を深める。	
8	・ 言葉1	2	・ 指示する語句と接続する語句の役割を知る。	
	○読書生活を豊かに			
8	・ 読書を楽しむ	2	・ さまざまな読書活動を知る。	読書感想文コンクール
	4 心の動き			
9	・ 大人になれなかった弟たちに...	4	・ 描写に注目して心情を捉える。	
	・ 星の花が降るころに	5	・ 人物の心情の変化を捉える。	
	・ 聞き上手になろう	2	・ 効果的な質問の仕方を知る。	
10	・ 言葉2	2	・ 方言と共通語の役割を理解する。	
	・ 漢字2	2	・ 音読み、訓読みを理解する。	

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考	
1 0	・書写3 行書を書こう 5 筋道を立てて ・「言葉」を持つ鳥シジュウカラ ・思考のレッスン2	2 4 1	・ 行書の特徴を知る。 ・ 図表と併せて文章を読む。 ・ 原因と結果の関係を理解する。	2学期中間考査 11月22日(水)	
1 1	・漢字3 ・話し合いの展開を捉える ・大阿蘇 6 いにしえの心にふれる ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	2 5 1 1 4 3	・ 新出漢字を学び、問題に取り組む。 ・ グループディスカッションを行う。 ・ 言葉の響きやリズムを読み味わう。 ・ 古典の世界に触れ、見方を広げる。 ・ 古典の文章に読み慣れる。 ・ 故事成語や漢文について知る。		
1 2	7 価値を見いだす ・不便の価値を見つめ直す ・作品の書評を書く ・漢字4 ・書写4 書きぞめ ・文法2 ・考える人になろう	4 2 2 8 3 1	・ 文章の中心となる部分を読み取る。 ・ 観点を立てて書評を書く。 ・ 新出漢字を学び、問題に取り組む。 ・ 行書の特徴を理解し作品を作る。 ・ 文節どうしの関係を理解する。 ・ 読書の意義を理解する。		実力考査 1月10日(火) 校内書きぞめ展
1 8	8 自分を見つめる ・少年の日の思い出 ・漢字5 ・文法3 ・随筆二編	6 2 3 2 3	・ 登場人物の心情の変化をとらえる。 ・ 新出漢字を学び、問題に取り組む。 ・ 単語の分類のしかたを理解する。 ・ 場面と描写を結びつけて読む。 ・ 体験を基に随筆を書く。		
2	・構成や描写を工夫して書こう ・言葉3 ・漢字6	2 2	・ さまざまな表現技法を理解する。 ・ 漢字の成り立ちを理解する。		学年末考査 2月 8日(木) 9日(金)
3	・1年間の学びを振り返ろう ・さくらのはなびら ・学習を振り返ろう	5 1 3	・ 相手意識・目的意識を持って書く。 ・ 作者の思いを想像しながら読む。 ・ 1年間の国語の学習を振り返る。		

4 授業への取り組み方, 準備物

- ・ 1時間ごとの課題やねらいをしっかりと確認して授業に臨むことが大切です。
- ・ 言葉や表現をもとに、自分で考えたり想像したりすることが重要です。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 友達の発表をしっかりと聞いて、自分の考えと比べたり広げたりしましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ 常に国語辞典を準備し、活用することで語彙力が向上します。

○ 準備物 教科書, ノート, ワーク, ファイル, 国語辞典 → 5点セット

- ・ 他に題材によって、国語便覧が必要です。(授業で指示します)
- ・ ノートは通常のものでB5版をすすめます。(ルーズリーフは使わない)

5 家庭での学習方法

- (1) 授業で配付される漢字練習プリントを丁寧に練習しましょう。別に漢字練習ノートを準備すると定着率が向上します。ただ回数をこなすだけでなく、他の言葉と関連させて覚えることで語彙力が向上します。
- (2) 教科書をしっかりと読みましょう。読めないところがなくなるまで、できるだけ声を出して読みましょう。意味が分からないものは、積極的に調べましょう。
- (3) 新聞や本など、活字を読む習慣を付けましょう。そして、自分がどう感じたか、どう考えるかを簡潔に頭の中でまとめる習慣を付けましょう。
- (4) ワークブックの問題を丁寧に解きましょう。しっかりと考えて記入することが大切です。勘やだいたいではなく、自分なりの根拠をきちんと持って解きましょう。
- (5) どんな力を付けたいのか、自分でしっかりと考えましょう。国語という教科は範囲が広いのです。どんな力を付けたいかによって、勉強の仕方も変わります。困ったときは、担当の先生に必ず相談してください。

令和5年度 第2学年 国語科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時数
国語2 (光村図書) 中学書写 1,2,3 (光村図書)	新基礎の学習国語2 (新学社) 国語便覧 (浜島書店)	1, 4, 5, 7組 和田圭介 2, 3, 6, 8組 鳥山理奈	週4時間 年140時間

1 教科目標

- (1) 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 必要な材料をもとにして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て	
	評 価 の 方 法	
【知識・技能】 言語事項	漢字や言葉を正しく使うとともに、文字の配列に配慮し、調和よく書くことができる。 定期考査、漢字や文法の小テスト、書写作品など	
【思考・判断・表現】 A 話す・聞く力	目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができる。 授業中の発表の様子、音読や朗読、聞き取りテストなど	
B 書 く 力	様々な材料をもとに、自分の立場を明らかにして論理的に書くことができる。 定期考査、授業中のノート、意見文、夏休みの課題など	
C 読 む 力	目的や意図に応じて文章を読み、効果的に活用することができる。 定期考査、授業中のノート、発表内容など	
【主体的に学習に取り組む態度】	国語に関心を持ち、授業に真剣に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、課題への取り組み方、提出物など	

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	○ オリエンテーション 1 広がる学びへ ・ 見えないだけ ・ アイスプラネット ・ 問いを立てながら聞く	1 1 4 1	・ 授業での準備物、約束を確認する。 ・ 言葉や表現の特徴に着目して読む。 ・ 登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して作品を読み取る。 ・ 疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞く。	仙台市標準学力検査 4月13日(木)
5	・ 枕草子 ・ 職業ガイドを作る ・ 漢字1 熟語の構成 ○ 書写 点画の省略 2 多様な視点から ・ クマゼミ増加の原因を探る	4 5 1 3 4	・ 作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えを持つ。 ・ 多様な方法で情報を集める。 ・ 熟語の構成の種類を理解する。 ・ 点画の省略を理解して書く。 ・ 説明の仕方や特徴を捉え、ものの見方や考え方を広げる。	
6	・ 思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする ・ 漢字に親しもう ・ 文法への扉1 単語をどう分ける？ ・ メディアを比べよう	1 5 1 2 3	・ 具体と抽象の概念を理解する。 ・ 資料や機器を活用し、写真などと言葉を組み合わせて説明する。 ・ 積極的に漢字を読み書きする。 ・ 自立語の品詞の性質を理解する。 ・ メディアとの付き合い方について自分の考えを持つ。	1学期中間考査 6月27日(木)
7	○ 書写 筆順の変化 3 言葉と向き合う ・ 短歌に親しむ ・ 短歌を味わう ・ 言葉の力 ・ 類義語・対義語・多義語 ・ 言葉を比べよう 【読書生活を豊かに】 ・ 読書を楽しむ ・ 翻訳作品を読み比べよう	2 4 2 2 1 1 1	・ 筆順の変化を理解して書く。 ・ 文章の描写の効果を理解し、情景を想像しながら読み味わう。 ・ 言葉の持つ意味を考え、語感を磨く。 ・ 語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・ 語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・ 作品に込められたものの見方や感じ方を捉え、自分の考えを深める。	
8 9	○ 書写 行書の練習 4 人間のきずな ・ 盆土産 ・ 字のない葉書 ・ 聞き上手になろう ・ 表現を工夫して書こう ・ 表現の効果を考える	4 4 3 1 3 1	・ 行書の書き方を覚え練習する。 ・ 登場人物の人物像や思いを読み取る。 ・ 表現の仕方の違いを読み取る。 ・ 質問で思いや考えを引き出す。 ・ 手紙の書き方について理解する。 ・ 手紙を推敲する。	1学期期末考査 9月12日(火) 13日(水)

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
---	-----	----	-------------	-----

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉2 敬語</li> <li>漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字</li> <li>5 論理を捉えて</li> <li>モアイは語る</li> </ul> <p>○書写 行書と仮名のまとめ 楷書と行書の使い分け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考のレッスン2 根拠の吟味</li> <li>根拠の適切さを考えて書こう</li> <li>漢字に親しもう</li> <li>異なる立場から考える。</li> <li>立場を尊重して話し合おう</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧語・尊敬語・謙譲語を理解する。</li> <li>同音異義語の意味や用法について理解する。</li> </ul>	<p>2 学期中間考査 11月22日(水)</p> <p>実力考査 1月10日(水)</p> <p>校内書きぞめ展</p> <p>学年末考査 2月8日(木) 9日(金)</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読を楽しもう 月世の浜辺</li> <li>6 いにしへの心を訪ねる</li> <li>音読を楽しもう/平家物語</li> <li>扇の的 平家物語から</li> <li>仁和寺にある法師</li> <li>漢詩の風景</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落に着目し、文章の構成を捉えながら筆者の意見を読み取る。</li> <li>行書に調和する仮名を書く。</li> <li>楷書と行書を選択する必要があることを理解する。</li> <li>根拠に説得力があるか吟味する。</li> <li>自分の意見が伝わるように工夫して書く。</li> <li>積極的に漢字を読み書きする。</li> <li>異なる立場の意見を予想する。</li> <li>客観性の高い根拠を基に考える。</li> <li>言葉の響きを味わう。</li> </ul>	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 価値を語る</li> <li>君は「最後の晚餐」を知っているか</li> <li>鑑賞文を書く</li> <li>○書写「書きぞめ」</li> <li>漢字に親しもう</li> <li>文法への扉2</li> <li>【読書に親しむ】</li> <li>研究の現場へようこそ</li> <li>読書案内</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文の文章の特徴を理解する。</li> <li>場面の状況や人物の心情を読み取る。</li> <li>漢詩特有の表現について理解する。</li> </ul>	
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 表現を見つめる</li> <li>走れメロス</li> <li>漢字に親しもう</li> <li>文法への扉3</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>各まとまりの内容を読み取り、段落の役割について考える。</li> <li>言葉や表現を工夫して書く。</li> <li>行書の筆使いや字形、筆脈に気を付け、文字の調和を考えて書く。</li> <li>用言の活用について理解する。</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>一字違いで大違い</li> <li>表現のしかたを工夫して書こう</li> <li>「ある日の自分」の物語を書く</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文を自分の知識や体験に結びつけて読む。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉3 話し言葉と書き言葉</li> <li>漢字3 送り仮名</li> <li>一年間の学びを振り返ろう</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>描写や会話に注目して、登場人物像の変化を捉える。</li> <li>付属語(助動詞・助詞)を理解する。</li> <li>文章の構成や描写を工夫して書く。</li> <li>書いた文章を読み合い、自分の表現に役立てる。</li> <li>違いを理解する。</li> <li>事例と主張の関係を理解する。</li> <li>送り仮名の付け方の原則を理解する。</li> <li>一年間のまとめをする。</li> </ul>	

#### 4 授業への取り組み方、準備物

- 1時間ごとの課題やねらいをしっかりと確認して授業に臨むことが大切です。
- 言葉や表現をもとに、自分で考えたり想像したりすることが重要です。
- 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- 友達の発表をしっかりと聞いて、自分の考えと比べたり広げたりしましょう。
- 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- 常に国語辞書を準備し、活用することで語彙力が向上します。

○ 準備物

教科書、ノート、ワーク、ファイル、国語辞典

→ 5点セット

- ノートは通常のものでB5版をすすめます。(ルーズリーフは使わない。)

#### 5 家庭での学習方法

- 授業で配付される漢字練習プリントを丁寧に練習しましょう。別に漢字練習ノートを準備すると定着率が向上します。ただ回数をこなすだけでなく、他の言葉と関連させて覚えることで語彙力が向上します。
- 教科書をしっかりと読みましょう。読めないところなくなるまで、できるだけ声を出して読みましょう。意味が分からないものは、積極的に調べましょう。
- 新聞や本など、活字を読む習慣を付けましょう。そして、自分がどう感じたか、どう考えるかを簡潔に頭の中でまとめる習慣を付けましょう。
- ワークブックの問題を丁寧に解きましょう。しっかりと考えて記入することが大切です。勘やだいたいでなく、自分なりの根拠をきちんと持って解きましょう。
- どんな力を付けたいのか、自分でしっかり考えましょう。国語という教科は範囲が広いのです。どんな力を付けたいかによって、勉強の仕方も変わります。困ったときは、担当の先生に必ず相談してください。

令和4年度 第3学年 国語科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時 数
国語3 (光村図書) 中学書写 1, 2, 3 (光村図書)	新 基礎の学習3 (新学社) 国語便覧 (浜島書店)	1～5組 大場 志保 6～8組 相原 芳子	週3時間 年105時間

1 教科目標

- (1) 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 必要な材料をもとにして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て 評 価 の 方 法
【知識・技能】 言語事項	漢字や言葉を正しく使うとともに、文字の配列に配慮し、調和よく書くことができる。 定期考査、漢字や文法の小テスト、書写作品など
【思考・判断・表現】 A 話す・聞く力	目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができる。 授業中の発表の様子、音読や朗読、聞き取りテストなど
B 書 く 力	様々な材料をもとに、自分の立場を明らかにして論理的に書くことができる。 定期考査、授業中のノート、意見文、夏休みの課題など
C 読 む 力	目的や意図に応じて文章を読み、効果的に活用することができる。 定期考査、授業中のノート、発表内容など
【主体的に学習に取り組む態度】	国語に関心を持ち、授業に真剣に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、課題への取り組み方、提出物など

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	○オリエンテーション 1 深まる学びへ ・ 世界はうつくしいと ・ 握手 ・ 評価しながら聞く	1 2 5	・ 授業での準備物、約束を確認する。 ・ 言葉に込められた筆者の思いや登場人物の心情を読み取る。	仙台市標準学力検査 4月13日(木) 全国学力・学習状況検査 4月18日(火)
5	・ 学びて時にこれを習ふ 「論語」から ・ 情報整理のレッスン 情報の信頼性 ・ 文章の種類を選んで書こう	4 2 4	・ メモを取り、自分と相手の考えを比較し評価する。 ・ 音読を繰り返しながら、孔子のものの見方や考え方を読み取る。 ・ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 ・ 文章の種類とその特徴について理解を深める。	
6	・ 熟語の読み方 2 視野を広げて ・ 作られた「物語」を超えて ○ 書写 行書の書き方 ・ 思考のレッスン 具体化・抽象化	1 4 3 1	・ 熟語の成り立ちやを理解する。 ・ 論理の展開のしかたなどを捉える。 ・ 行書の書き方について理解する。 ・ 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。	
7	・ 説得力ある構成を考えよう ・ 漢字に親しもう ○ 文法 すいはは幾つ必要?	3 1 3	・ 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・ 熟語の成り立ちやを理解する。	1学期中間考査 6月27日(火)
8	・ 実用的な文章を読もう 3 言葉とともに ・ 俳句の可能性	2 3	・ 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解する。 ・ 文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価する。	第1回実力考査 8月25日(金) 第2回実力考査 9月 日( )
9	・ 俳句を味わう ・ 言葉を選ぼう ○ 読書 羊と鋼の森 4 状況の中で ・ 挨拶 ・ 故郷	2 1 2 2	・ 多様な表現について考える。 ・ 図書紹介等で多様な本に触れる。 ・ 情景や人物を描写する語句や表現に着目し、そこに暗示されていることや心情を読み取る。	1学期期末考査 9月12日(火) 13日(水)

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10	・ 聞き上手になろう	2	・ 相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。	読書感想文コンクール 第3回実力考查 10月 日( )
	・ 論理の展開を整える ・ 慣用句・ことわざ・故事成語 ・ 漢字の造語力	2 1 1	・ 目的や意図に応じて文書を整える。 ・ 慣用句・ことわざ・故事成語を覚える。 ・ 漢字の造語力について理解する。	
11	5 自らの考えを ・ 人工知能との未来 ・ 多角的に分析して書こう ・ 話し合いを効果的に進める ・ 合意形成に向けて話し合おう ・ 初恋	2 3 3 1	・ 文章を批判的に読む。 ・ 表現の仕方を工夫して書く。 ・ 進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合う。 ・ 詩の構成や展開の仕方を評価する。	2学期中間考查 11月2日(木)
	6 いにしへの心を受け継ぐ ・ 古今和歌集 仮名序	3	・ 表現の特徴や言葉遣いに注意しながら音読し、古典の世界に親しむ。	
12	・ 君待つと	3	・ 昔の人のものの見方や感じ方を捉え、好きな歌の鑑賞文を書く。	校内書きぞめ展
	・ 夏草「おくのほそ道」から ○ 書写 書きぞめ	4 8	・ 芭蕉や作品に関心を持って読み、作者の生き方や考え方について、自分の考えを持つ。 ・ 全体の調和や筆脈に注意し、行書の特徴を生かして書く。	
1	7 価値を生み出す ・ 誰かの代わりに ・ 情報を読み取って文章を書こう ○ 文法 ・ 「ない」の違いがわからない?	3 3 2	・ 人間、社会、自然などについて、自分の意見を持つ。 ・ 論理の展開を工夫して書く。 ・ 「ない」の文法上の違いを理解し、品詞の判別をする。	学年末考查 2月 8日(木) 9日(金)
	○ 読書 ・ エルサルバドルの少女ヘスース	1	・ ヘスースの生き方について考えを持つ。	
2	7 未来へ向かって	1	・ 論理の展開を押さえて筆者の主張を捉え、自分の意見を持つ。	
3	・ 温かいスープ ・ わたしを束ねないで ・ 漢字のまとめ ・ 問題演習 ・ 3年間の歩みを振り返ろう	1 2 3 8 2	・ 詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の意見を持つ。 ・ 実践に即した力を付ける。 ・ 3年間の国語の学習を振り返る。	

4 授業への取り組み方、準備物

- ・ 1時間ごとの課題やねらいをしっかりと確認して授業に臨むことが大切です。
- ・ 言葉や表現をもとに、自分で考えたり想像したりすることが重要です。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 友達の発表をしっかりと聞いて、自分の考えと比べたり広げたりしましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ 常に国語辞書を準備し、活用することで語彙力が向上します。

○ 準備物

教科書、ノート、ワーク、ファイル、国語辞典 → 5点セット

- ・ 他に題材によって、国語便覧が必要です。(授業で指示します。)
- ・ ノートは通常のものでB5版をすすめます。(ルーズリーフは使わない。)

5 家庭での学習方法

- (1) 授業で配付される漢字練習プリントを丁寧に練習しましょう。別に漢字練習ノートを準備すると定着率が向上します。ただ回数をこなすだけでなく、他の言葉と関連させて覚えることで語彙力が向上します。
- (2) 教科書をしっかり読みましょう。読めないところがなくなるまで、できるだけ声を出して読みましょう。意味が分からないものは、積極的に調べましょう。
- (3) 新聞や本など、活字を読む習慣を付けましょう。そして、自分がどう感じたか、どう考えるかを簡潔に頭の中でまとめる習慣を付けましょう。
- (4) ワークブックの問題を丁寧に解きましょう。しっかりと考えて記入することが大切です。勘やだいたいでではなく、自分なりの根拠をきちんと持って解きましょう。
- (5) どんな力を付けたいのか、自分でしっかり考えましょう。国語という教科は範囲が広いのです。どんな力を付けたいかによって、勉強の仕方も変わります。